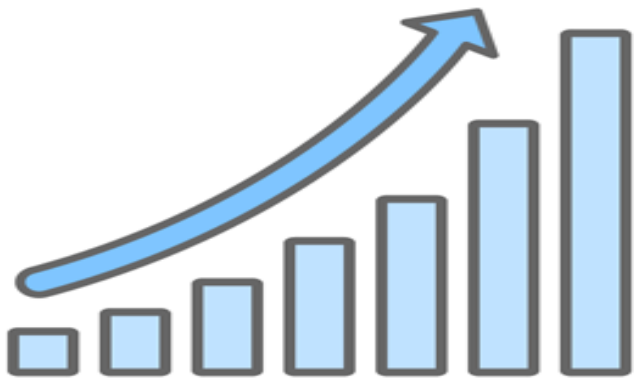




かていがくしゅう
☆家庭学習とは…

がっこう かえ あと いえ がくどう じぶん がくしゅう がっこう ぜんいん だ
学校から帰った後に、家や学童クラブなどで、自分で学習するものです。学校が全員に出
しゅくだい じぶん かだい き じしゅがくしゅう ひがしやまにしょう こども
す「宿題」のほかに、自分で課題を決める「自主学习」があります。東大和二小では、子供
たちの主体性を伸ばし、小学校で学習する内容の確かな理解と定着をめざして、家庭
がくしゅう と く かた ないよう めやす かていがくしゅう さくせい
学習の取り組み方やその内容の目安として、この『家庭学習のてびき』を作成しました。

かていがくしゅう
家庭学習をするとこんないいことがあるよ！



- ☑ ^{がくしゅう}家で学習するクセがつく！
- ☑ ^{がくしゅうないよう}学習内容がしっかり身につく！
- ☑ ^{あと よろこ}がんばった後の喜びが味わえる！
- ☑ ^{しゅうちゅうりよく こんきづよ}集中力や根気強さが育つ！
- ☑ ^{じぶん すす}自分から進んで学習する力が付く！

かていがくしゅう やくそく
家庭学習の約束！

- ☑ ^{がくしゅう じこく じかん き}学習する時刻と時間を決めよう。
- ☑ ^{け つくえ うえ かたづ}ゲームやテレビを消して、机の上を片付けよう。
- ☑ ^{べんきょう しゅうちゅう と く}“ながら勉強”はせずに、集中して取り組もう。
- ☑ ^{べんきょう ないよう いえ ひと み}勉強した内容を、家の人にも見てもらおう。



保護者の皆様へ

本校では、学習習慣の定着や、進んで学ぶ子供をめざして、さまざまな取組を計画・実施しています。家庭学習につきまして、これまでも宿題や自主学習として実施してきました。そこで、各学年のよい実践を取り入れるとともに、小中連携の視点から、家庭学習の一層の充実を図るために、その取り組み方や内容の目安などを示すことにいたしました。つきましては、この「てびき」をお子様とよくお読みいただき、家庭学習についてもう一度ご確認いただけますよう、よろしくお願いいたします。

1 自分で学習計画をつくり、決めたことをやり抜く姿を見守ってください。

- 子供が自ら学習計画をつくり、自分で決めたことに基づいてやり抜くことが大切です。取り組む姿を見守り、応援して、主体性を育てていきましょう。
- 学習計画をつくる際には、発達段階によって保護者のサポートが必要な場合もあります。お子様から学校での授業の進み具合を聞き取りながら、無理のない計画を一緒につくり、継続できるようにしましょう。

2 ゲーム、スマートフォンなどの使用時間のルールを一緒につくってください。

- ゲーム、スマートフォンなどの使用時間のルールをお子様と一緒に決め、時間の使い方を大切にする意識を育みましょう。その際、お互いに納得できるよう、話し合って約束をつくることを大切にしましょう。
- 学校から貸与された端末(iPad)を使用する際は、『タブレット活用の2小ルール』を守りましょう。

【家庭でのルールの例】

- 使用する場所や時間を決める。(食事中、入浴中に使わない。寝室に持っていかない。保護者の目が届く場所で使う。電話の使用、メールの送受信は、夜〇時までにするなど)
- オンラインゲームのルールを決める。(課金しない。知らない人とはゲームをしない など)
- アプリをダウンロードする時は、保護者に相談する。
- 写真や動画を撮影する時には許可を得る。許可なく投稿しない。
- 他人を傷つけるような中傷や悪口は投稿しない。

3 お子様の家庭学習をサポートするために

- 睡眠を十分にとらせたり、食事に気を配ったりするなど、学習できる体をつくりましょう。
- ゲームやテレビを消して、机上整理をさせるなど、学習環境をつくりましょう。
- 時間を決めさせて、その時間内にやり遂げられるように取り組みせましょう。
- 「よくやったね。」「がんばったね。」など、できたこと、努力していたこと、昨日より頑張れたことなどを具体的にほめて、認めて、励ましましょう。
- できるだけお子様と一緒に学習し、学校のことなど会話の時間を増やしましょう



レベル1

宿題からはじめよう

基本的な学習習慣を身に付けましょう

宿題の基本形は、「音読」「漢字練習」「計算練習」の3つです。



	1・2年	3・4年	5・6年
音読	教科書の習ったところを声に出して読む。	教科書の習ったところを正しく読む。	教科書に出てきた作者の書いた本などと読み比べて読む。
漢字	学習した文字を形を整えて、丁寧に練習する。 学習した漢字を正しく使って文や文章を書く。	学習した漢字のへん、つくりを考えて練習をする。 (3年生の新出漢字 200 字、4年生の新出漢字 202 字)	学習した漢字を意味や成り立ちを考えて使う練習をする。 (5年生の新出漢字 193 字、6年生の新出漢字 191 字)
計算	学習した計算の仕方を使う練習をする。(たし算、ひき算、かけ算など)	学習したかけ算やわり算を使いこなす練習をする。(筆算での計算、小数の計算など)	学習した計算方法を使いこなす練習をする。(分数の計算、速さ・面積・体積の求め方など)

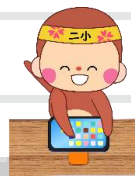


キュビナを使ってみよう

苦手をなくし、得意をふやしましょう

Qubena(キュビナ)は、東大和市が導入した AI を活用した小・中学生向けの個別最適化をめざした AI 型教材です。学校から貸与されている端末(iPad)上のブラウザで動作し、AI が一人一人の習熟度や苦手箇所をリアルタイムに分析して、最適な問題を自動で出題することができます。

二小「家庭学習週間」



二小を卒業した児童の多くが、二中に進学します。そのため、二小と二中は「小中連携校」となっています。毎年、年2回の小中連携合同あいさつ運動を行ったり、二小の運動会に二中のボランティア部がお手伝いに来てくれたりしています。今年度から、二中の定期考査前の家庭学習期間を二小でも「家庭学習週間」とし、小中の足並みを揃えて家庭で学習する意識を育ててまいります。ご家庭でも学習しやすい環境づくりや励ましの声かけなどのご協力をお願いいたします。

保護者の皆様へ

一人一人の子供に個性があるように、家庭学習に取り組む意欲や姿勢にも個人差があります。子供の気持ちを聞きながら、話し合っ、少しずつ習慣化することが大切です。頑張ったことは、しっかり認め、ほめることにより、次への意欲につなげましょう。家庭での様子から、困ることや悩むことがあったら、遠慮なく学校へご相談ください。

レベル3

自主学習にチャレンジ!

自主的な学習習慣を身に付けましょう

自主学習とは、教師から指示された宿題とは異なり、自分で学習テーマや内容、方法、計画を決め、主体的に取り組む勉強のことです。自分の興味があることや苦手分野の克服、自分で問題を考えるなど、さまざまな内容があります。結果よりも「自分で考えた」というプロセスが最も重要です。

【自主学習の例】

1・2 年	日記や作文で、順序を考えて書く、相手に伝わるように書く。 興味をもったことを自由に調べる。 iPadやアプリを起動し、写真や動画を撮影したり、手書きで文字や絵をかいたりする。
3・4 年	宿題の他に、授業で習った内容について、教科書を読んだり、ノートを見返したり、間違えた問題をもう一度やってみたりする。 分からないことを本やインターネットで調べる。 学習した語句や内容をノートにまとめる。 ローマ字を用いて、キーボードで文字の入力を練習する。
5・6 年	次の授業で学習するところをキュビナや NHK for school を活用して予習する。 授業で習った内容について、ノートや iPad タブレット端末にまとめ直す。 写真や文字を活用し、相手に伝わるプレゼン資料をつくる。

